

この報告は、戦死者の遺族に対する慰問と、戦死者の功績を顕彰し、世に伝えることを目的としている。戦死者の遺族は、戦時中、甚大な犠牲を払った。彼らは、国家のために命を捧げた。その功績を後世に伝えることは、戦死者の名誉を守ることに等しい。また、戦死者の遺族を慰問することは、戦死者の霊を慰むことにもなる。この報告は、戦死者の遺族に対する慰問と、戦死者の功績を顕彰し、世に伝えることを目的としている。

内閣情報部五。二一 情報第六號

重慶支那語放送 (六日) (臺灣總督府交通局遞信部聴取)
一、香港五日電

外人消息。今回の對華交戦に付調査する所によれば日本軍の死傷者は極めて甚大にして遺族は生活困窮して救恤を待つ者は數百萬人を下らず日本政府に於ても此の問題に關し非常に頭を悩ましてゐる先月二十三日軍部は九段靖國神社に於て東京師團管區の戦死將士に對する招魂祭を舉行、板垣陸軍が祭主となり參列せる遺族は四萬餘名に達し終りて着席の儘代表三名を推薦して軍部に對し「從來より遺族救恤條例の規定があるが如何なる理由の下に未だ施行して居らぬか之が爲我々の生活が困難を來して諸所にさまよつて安居が出来ない、斯くて戦死した英靈に對し辱かしのめか折角靈を招いても何の用をもなさない」と質問した所板垣は明瞭に答へ切れず且率強理不盡の言葉を發し其の愴惶失措の様は殘らず暴露して群衆の心情を痛く激昂せしめると共に大聲で泣きつつ痛罵する者さへあつた程である聞けば彼等は其他十三師團管區の遺族と聯合して一大規模の請願示威運動を起さんとしてゐると言はれる。

一、洛陽五日電

59

新郷に蟠踞する敵は目下文化侵略を積極的に實行してゐる。即ち無料日語班を多數設け民衆を勧誘入學せしめてゐるが極く少數のものしか入學せず敵の計畫には乗せられない。某敵兵の談によれば敵兵は出征以來一年半に及び極めて怨恨を抱き大多數の同僚が毒物を吸食してゐるのを見た、尙常に女色及賭博に耽り軍紀も士氣も以前の如く嚴格ならずと尙本人も亦戦争を非常に嫌忌してゐた。

一、楡林五日電

先月二十九日托縣の糧口鎮に突然六機の飛行機が飛行して爆撃を行ひ並に反國民黨、防共及平和を要望する宣言を掲げたる偽大公報、新華日報多數部を投下した、當時爆死せし民衆百餘名に達したが事後該縣の敵は猫を被つて一人に付五十元の救恤金を支給し同事件が如何にも第三者が爲した様に見せかけやうとした然し同飛行機より投下した爆弾の破片には各れも昭和十二年製造の文字があり且つ該新聞紙の内容は全く敵側の文句で其上當日該飛行機は高空を飛んで居るけれども其兩翼の敵徽章ははつきりと見分けられた、敵が卑怯にも第三者が爲したやうに我民衆を欺かんとする無恥なる暴行は徒に敵の狼狽及陰險を示すばかりである。

一、本市（重慶）は連日敵機の暴爆に遭つて市民の死傷流離に對し總裁は深く之を憂慮、特に本五日「五、五」紀念の式を舉ぐる機會に黨政軍の全員に對し難民の疏散救済工作に努力

するやう激勵する所あつた。即ち「五、五」紀念式終了後、總裁には黨政軍各機關の長官を召集し人民物力の緊急動員に付き協議する所あり、次の諸事項を決定した。

- (1) 積極的に防火線の設置に努むること。
- (2) 公私の船舶、車輛を集中して難民の運送に當らしめること。
- (3) 政府より巨額を捻出して救護に努め黨政軍各機關人員は文官は簡任以上武官は佐官以上皆少くとも一ヶ月以上の俸給を寄附して難民の救済費に充てること。
- (4) 全市の黨員及三民主義青年團々員、公務員並に各種の兵士を動員して防備、救済工作に協力せしめる外、總裁より何應欽總長を一切を指揮する責任者に指定したが聽て何總長は各關係機關の長官と協議して多數項に亘る辦法を決定した、而して老弱婦人小兒を市區より疏散することは尤も緊要であるが已に公路、船舶、車輛を統制して無料で之を運送することにし、各機關の自動車も全部出動することに決定した此外難民の集中個所には夫々係員を派して一切の世話に當ることに決定したと。

本日午後四時、重慶の外國財産が蒙つた損害に關する詳細調査によれば、英佛獨各國領事館並にアメリカのフレンド・教會も爆彈を受けてゐる。イギリス外交使節の事務所及び同國領事館は共に爆撃せられ、外人一名が負傷し支那人の館員十一名が殺され更に同數の負傷者を出してゐる。フランス領事館には爆彈二箇が命中し一箇は不發であつたが他の一箇は門に命中し軽い損害を與へた。又ドイツ領事館の周圍に起つた火災は喰止められたが構内に軽い損害を與へた。

フレンド・教會は完全に破壊せられた。支那側が各國領事館の附近に高射砲を置いたといふ日本側の報道を斷然否定し、支那側高射砲隊が其の附近にあるかないかは各國の領事館員自身が最もよく知る所であるに指摘し、重慶は外國財産の多い支那の首都であるから、外人の生命及び財産を保護すべき義務を有する支那當局は高射砲を領事館附近に設置することを控へたと附言してゐる。孔祥熙は緊急救済の爲に百萬圓の支出を認めたる外に防空道路擴張の爲に更に百萬圓を計上した。全國救済委員會の副議長許世英は避難民救済指導

極

内閣情報部五・一一 情報第七號

一 成都支那中央通信社報（七日）（朝鮮總督府遞信局轉取）

重慶報

(1) 五月四日の大爆撃で重慶の外國財産が蒙つた損害に關する詳細調査によれば英佛獨各國領事館並にアメリカのフレンド・教會も爆彈を受けてゐる。イギリス外交使節の事務所及び同國領事館は共に爆撃せられ、外人一名が負傷し支那人の館員十一名が殺され更に同數の負傷者を出してゐる。フランス領事館には爆彈二箇が命中し一箇は不發であつたが他の一箇は門に命中し軽い損害を與へた。又ドイツ領事館の周圍に起つた火災は喰止められたが構内に軽い損害を與へた。

フレンド・教會は完全に破壊せられた。支那側が各國領事館の附近に高射砲を置いたといふ日本側の報道を斷然否定し、支那側高射砲隊が其の附近にあるかないかは各國の領事館員自身が最もよく知る所であるに指摘し、重慶は外國財産の多い支那の首都であるから、外人の生命及び財産を保護すべき義務を有する支那當局は高射砲を領事館附近に設置することを控へたと附言してゐる。孔祥熙は緊急救済の爲に百萬圓の支出を認めたる外に防空道路擴張の爲に更に百萬圓を計上した。全國救済委員會の副議長許世英は避難民救済指導